

受験番号	<input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/>	氏名	<input style="width: 95%; height: 25px;" type="text"/>
		評点	<input style="width: 50px; height: 30px;" type="text"/>

科目名 (小論文)

次の文章を読んで、各問いに答えよ。

喫煙はがんをはじめとする様々な疾患の原因となり得る。特にタバコの煙による健康被害は喫煙者本人だけでなく、副流煙を吸い込んだ非喫煙者にも健康被害が及ぶため（これを受動喫煙とよぶ）、大きな社会問題となっている。

次の喫煙者における疾患別死亡リスクの増大を表した図と、タバコ1本を吸ったときに生成する主流煙と副流煙中の有害物質の量を示した表をみて、下の問1～問3の設問に答えなさい。

ただし、主流煙とは、喫煙者がタバコのフィルターを通じて吸い込む煙で、副流煙とはタバコの火のついた部分から立ち上る煙を指す。また、タバコの煙中のタールには多くの発がん物質が含まれている。さらに、タバコの煙中のニコチンには血管を収縮させる作用が、一酸化炭素には血液の酸素運搬を阻害したり、血管壁を傷つけたりすることで血栓をできやすくする作用がある。心筋梗塞および脳卒中は血管が閉塞して血流が遮断されることで起こる循環器疾患である。

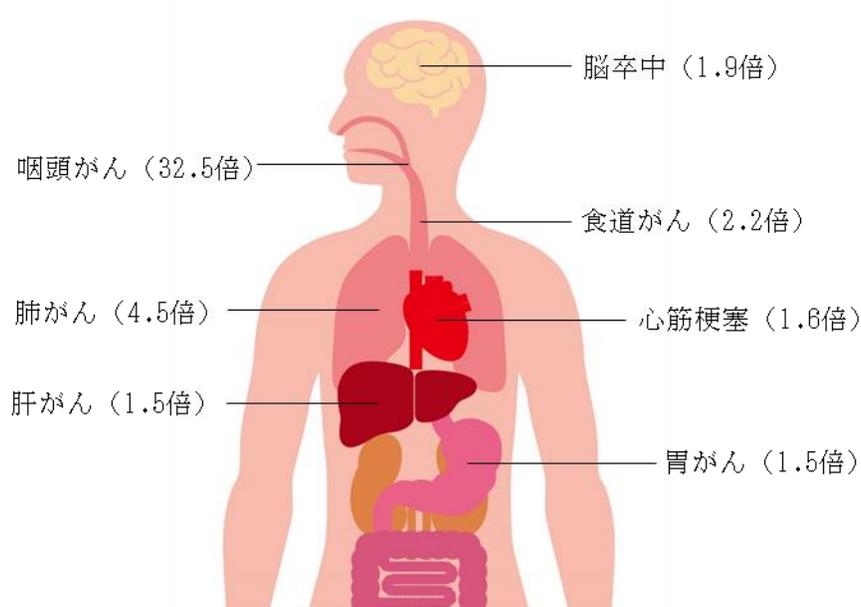


図1 喫煙者における疾患別死亡リスクの増大
(カッコ内の数値は非喫煙者の死亡リスクに対する喫煙者の死亡リスクの増大率を示す)

有害物質	主流煙	副流煙
タール	10.2 mg	34.7 mg
ニコチン	0.46 mg	1.29 mg
一酸化炭素	31.4 mg	147.6 mg

